

高橋 蓮

-Ren TAKAHASHI-

独立行政法人
国立病院機構
仙台医療センター



『急性期理学療法を担う』

高橋 蓮 -Ren TAKAHASHI-

- ◎ 所属：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- ◎ 入学期：大学13期生 ◎ 出身地：山形県新庄市

Q1. PTをめざそうと思ったきっかけは？

私は小学生の頃から野球に励んでいましたが、怪我多く、苦しい思いをしたことが多々あり、そのような経験から高校生の時に理学療法士という職業を知りました。また、私が高校生の頃、祖父が骨折し、寝たきりになってしまったことがありました。当時の自分は何にもすることができず、ただ日々弱っていく祖父の姿を眺めることしかできず、悔しい経験をしました。将来、怪我や病気で辛い思いをしている人のためになりたいと思い、理学療法士を目指しました。

Q2. 病気を発症して間もない患者さんを対象とした理学療法のやりがいは？

急性期における理学療法は患者さんの回復過程に大きく関わることができます。急性期において理学療法の対象となる患者さんは、リハビリを開始した当初、意識がない方や自分では歩くことのできない方が多いです。そのような患者さんが、退院するときには一人で歩けるようになり、自宅へ帰ることができるとにやりがいを感じます。

Q3. 高校生・在学生へのメッセージ

私は理学療法士になれて良かったと思います。学生の際は勉強しなければならぬことが多く大変なこともありましたが、その知識が現在患者さんや自分のためになっています。また、本学は理学療法士を目指す仲間がたくさんいます。そのため、勉強だけでなく、サークル活動やイベント事なども充実し、非常に楽しく4年間を過ごすことができました。

